

「二宮金次郎像、ブラジルに渡る」プロジェクト 報告書

平成20(2008)年8月より始まった、「二宮金次郎像、ブラジルに渡る」プロジェクトは、皆様のおたたくご支援により、所期に掲げた目標を達することができました。感謝の思いを込め、今回のプロジェクトについてとりまとめましたのでご報告いたします。

実行委員会、立ち上げ！ 平成20(2008)年9月10日

松沢成文・神奈川県知事が2008年6月に、日本人ブラジル移住100周年を記念し、ブラジルを訪問したことを契機に、神奈川文化援護協会(ブラジル・サンパウロの神奈川県人会)の皆様からの要望を受け、「二宮金次郎像、ブラジルに渡る」プロジェクト実行委員会が立ち上がり、本プロジェクトは始動しました。

プロジェクトの内容

- (1) 二宮金次郎像のブラジル日系人団体への寄贈
- (2) 二宮尊徳関係資料のブラジル日系人団体への寄贈
- (3) 「二宮尊徳セミナー」をブラジルで日系人団体と共同開催



募金開始

実行委員会の発足を受け、プロジェクトを推進するため、平成20年9月から募金が始まりました。全国の多くの皆様から、ご理解とご協力をいただきました。

結果

募金者数	個人	3,211名
	団体	156団体
募金総額		8,801,292円

皆様からの貴重な推譲、本当にありがとうございました。



ブラジルに送られた金次郎像

(財)報徳福運社からご寄贈いただきました。

この像は、横浜市金沢区の白梅保育園に、創立者である小田原市出身の小泉金助氏により、建立されたもので、平成8年の廃園の際に(財)報徳福運社に寄贈されたものです。



二宮金次郎像出発式 11月28日



爽やかな秋晴れの下、二宮尊徳生家前にて、二宮金次郎像出発式が行われました。式には松沢・県知事、加藤・小田原市長、草山・報徳博物館館長をはじめ、200名以上が参加し、金次郎像のブラジルへの出発を盛大に祝しました。

報徳保育園園児による「唱歌 二宮金次郎」や歌手・大塚文彦氏による「噫々二宮金次郎」が披露され、式典に花を添えました。

二宮金次郎像は、平成20年12月10日に横浜港を出港し、平成21年1月9日、ブラジル・サントス港に到着しました。

その後、平成21年1月24日午後、無事に神奈川県人会館(サンパウロ市)に設置されました。



ブラジル・サンパウロでの活動記録

2009年2月6日
～2月9日

平成21(2009)年2月6日 午後
開拓先没者慰霊碑へ献花

ブラジルに到着後、サンパウロ市内の公園にある開拓先没者慰霊碑（日本移民の先駆者の霊を祭る碑）に献花を行いました。



2月7日午前
日系人団体との懇談

ブラジル日本移民資料館を視察し、日系人団体の代表者と二宮尊徳に関して懇談を行いました。



2月7日 午後

セミナー「21世紀を生き抜くために - 二宮金次郎から学ぶ - 」開催

ブラジル・サンパウロの東洋人街にあるブラジル日本文化福祉協会ビルで、日系人を中心に約100名が参加して、セミナー（13時から18時）が開催されました。セミナーでは、小田原市教育委員会が作成した「アニメ二宮金次郎」にポルトガル語の字幕が入ったものの上映、草山館長から二宮尊徳とその思想のわかりやすい説明や、現代の世界で必要とされている理由や現状について講演がありました。



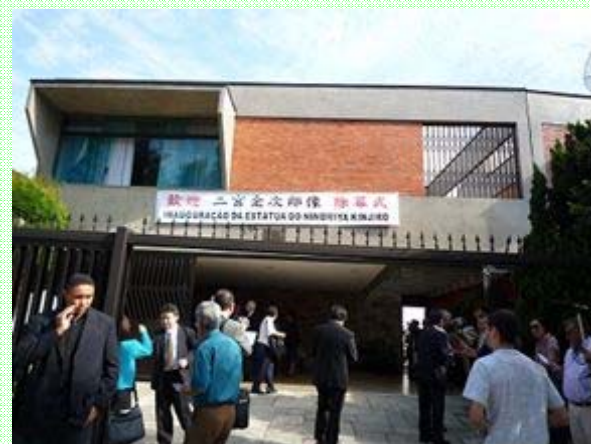
草山館長、二宮精三・国際二宮尊徳思想学会顧問、山村敏明・リベira沿岸日系団体連合会会長との間で行ったパネルディスカッションでは会場からも積極的に質問が出され、活発な意見交換が行われました。

2月8日 午前
二宮金次郎像除幕式

ブラジル、サンパウロの神奈川県人会館において、大部一秋在サンパウロ日本国総領事夫妻はじめ、約60人が参加し、9時より除幕式が行われました。式典には、代表者のあいさつや像の除幕、参加者全員で「唱歌二宮金次郎」の斉唱が行われました。今後、公園等への像の正式な設置に向けて、調整を進めていきます。



除幕の様子



神奈川県人会館





神奈川県人会館に設置された
二宮金次郎像

2月8日 午後 レジストロ市の移民資料館視察

除幕式の後、定住目的で日本人が入植した最古の地であるサンパウロ州南部レジストロ市を訪問しました。かつて南米最大といわれた精米工場を利用した資料館には、かつて移住者が使用した教科書と一緒に二宮金次郎を描いた絵画が展示されており、移住地でも語り継がれていたことが伺えました。



移民資料館に
展示されてい
た二宮金次郎
の絵



移民資料館

2月8日 夜 二宮尊徳セミナー開催（レジストロ日伯文化協会）

レジストロ日伯文化協会の会館で行ったセミナーでは、周辺の市長5人を含む120名が参加し、ポルトガル語字幕入りの「アニメ二宮金次郎」を上映した後、草山館長から報徳仕法等のお話がありました。



会場となった
レジストロ日
伯文化協会



会場内の様子

2月9日 午前 ブラジルの二宮金次郎像

レジストロ市に隣接するパリケラス市とジャクピランガ市に2008年、日本人ブラジル移住100周年を記念して建てられた二宮金次郎像を視察しました。この二つの像は、日系人の斎藤咲男氏が中心となって建てられたものです。斎藤氏は、小さい頃より母親から二宮尊徳の教えを聞きながら育ち、そのおかげで今の自分があるとの感謝の思いで、二宮金次郎像を建立されたそうです。

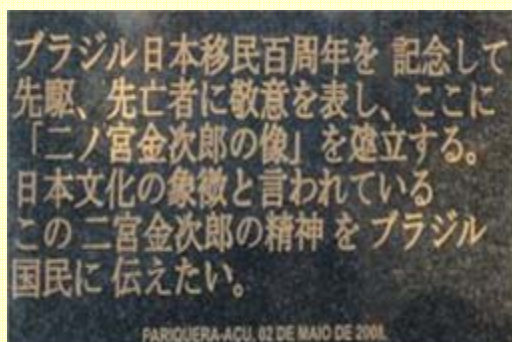


パリケラス市の二宮金次郎像

市内の公園内に設置されています。パリケラス市長はじめとするたくさんの方が迎えてくれました。右の日本国旗をもっている人がパリケラス市長です。



この2体の像の台座に刻まれている碑文です。



ジャクピランガ市の二宮金次郎像

市警察署の近くの大きな街道沿いに設置されています。ここでも、ジャクピランガ市長（後列左から二人目）をはじめ、たくさんの方が迎えてくれました。

二宮尊徳関係資料の寄贈

「現代版報徳全書」をはじめとする30冊以上の資料を、それぞれ、ブラジル日本文化福祉協会、神奈川文化援護協会、リベイラ沿岸日系団体連合会に寄贈し、今後のブラジルでの二宮尊徳に関する学習、研究に役立ててもらおうよう要請しました。



【問い合わせ先】

〒231-8588 神奈川県横浜市中区日本大通1 神奈川県県民部国際課内
「二宮金次郎像、ブラジルに渡る」プロジェクト実行委員会
電話番号：045-210-3755 ファクシミリ番号：045-212-2753
メールアカウント：kinjiro-project@pref.kanagawa.jp

